

食品産業生産性向上フォーラムin 広島 開催結果報告

2018年10月1日（月）13時より、RCC文化センター広島にて、「食品産業生産性向上フォーラムin広島」を開催した。参加者総数は約63名、うち食品関係者は13名であった。他、ロボット機械関係28名、コンサル関係4名、政府・公共機関18名。フォーラムの内容は下記のとおり。

1. 趣旨説明（農林水産省食料産業局食品製造課長 東野昭浩氏）

近年、労働生産性向上が重要視されている。我が国の労働生産性は6割にとどまっており、海外と比較しても低いレベルである。今後の食品製造業のカギは労働生産性向上である。魅力的な商品を開発し、その企画を挙げ、売上を目指すことが重要となる。また、人材難の中で機械化、IT化を高めて分母の数値を下げるのが重要となる。食品製造業の人材不足は深刻である。生産現場の効率化で人手不足を補わなければ、生産が追いつかない事態になりかねない。生産性向上の取組は企業・現場によって異なるので、交流会と一緒に課題を発見するより良いパートナーを見つけていただき労働生産性に取り組んでいき、未来に残すような産業になってほしい。



東野食品製造課長
趣旨説明

2. 基調講演（食品生産性向上フォーラム企画検討委員長 弘中泰雅氏）

生産性とは、顧客にとって有益な商品を出し付加価値を出すことである。投入した労働力が効率よく生産に使われていることが労働生産性が良いということ。しかしながら、生産性を数字できちんと捉えられている工場や経営者は非常に少ない。工場の生産性は会社の売上ではなく、工場の出荷金額を見ることが正しい。工場出荷額から原材料を引いたものが工場が生み出した付加価値となる。それを一人当たりで割ったものが価値となる。工場全体だけではなく、部門ごと、ラインごとに出すことで課題対策を出しやすくなる。食品製造業は多品種少量生産だが、効率的なスケジュールで運用しようと考えている食品製造業の人が少ない。生産性を2倍にしなければマネジメント思考に転換することや、従業員の意識改革等に取組まなければならない。

3. 基調講演（ものづくりテラス 林 芳樹氏）

「食品製造業の組織力向上を考える」講演。食品製造業の課題は多いが、今日は、品質管理面、人材育成面、全社課題面について、組織構造の面から事例を元に、食品製造業の組織向上を考える。品質管理部門ではミッションの明確化をはかり発生した問題を「対応療法」的な解決ではなく、根本原因を押さえ再発防止をはかるしくみを整備する。人材管理面からは、経営方針をもとに各部門、個人目標まで展開し、目標管理を推進することがある。全社課題面では経営者の意識改革として、無形資産の価値を認識することは重要。全社テーマに対応し各部門を横断的に支援する組織づくりが重要である。

4. 基調講演（一般社団法人 日本ロボット工業会 高本治明氏）

「食品産業における機械化・ロボット化の現状とポイント」講演。以前は使い難かったが、近年では食品製造業界でもロボットへの注目が高まっている。センシング技術とAI技術が進歩したことが大きく、画像処理が使い易くなった。協働ロボットが誕生したことも大きい。ロボット導入のポイントは、工場全体の生産性向上が必要であり、1箇所だけのロボット導入では全体の課題は改善されない事を注意する。工場全体の工程の状況を把握した上で、ロボットをその改善のツールとして活用すべきである。導入事例のハンドブック等を参考にしてほしい。

5. 先進事例紹介（株式会社田中食品興業所 児島 秀介氏）

製パン、製菓用フラワーペースト、あん製品などの製造・販売。3年前に生産スケジューリングシステムを導入。時間管理により問題箇所を把握し、業務改善サイクルをまわすシステムである。各製品の生産工程の表現にガントチャートを導入し、視覚的な管理、分析が可能になった。作業者のリアルタイム入力により、進捗状況を管理者が視覚的に確認でき問題点を把握する。工場長、製造課長、現場担当者、工場管理係の定期会合により、問題改善が促された。

6. 先進事例紹介（株式会社ヒロテック 富永 誠氏）

自動車部品量産、生産システム製造を行う。「自社の設備は自社で造る」というモットーでSIerに至る。食品産業の自動化の課題を把握し、生産技術としての役割を担う。アプローチは下流から上流へ。自動化構想と仕様を作成し、人作業を自動化する方法が理解できるように起案。取組み事例を動画により紹介。また、他業種への水平展開等を発表。

7. 農林水産省よりお知らせ（農林水産省食料産業局食品製造課企画官 阿部徹氏）

農林水産省の補助金政策に関する取組について①食品産業戦略、②食品産業イノベーション推進事業、③食品産業の働き方改革早わかりハンドブック（ハンドブック）、④食品産業「稼ぐ力」応援セミナーについて紹介。

8. 経済産業省よりお知らせ（中国経済産業局 甲斐 水都氏）

中国経済産業局の取組について①SI企業ネットワーク「中国地域SI-Try-Net」、②新事業活動推進支援事業を紹介。

9. 生産性向上支援事業者によるプレゼンテーション

支援事業者10団体によるプレゼンテーション実施。

10. 交流会

プレゼン企業に加え、講演者を交え、40名ほどの人数が隣接の展示交流会場で交流会を行い活発な意見交換がなされた。

フォーラム風景

